



## 関東支部 第130回(2013年度)研究大会・総会のご案内

### 大会テーマ 外国語の何をどのように教えるか 2

### —「わかる」から「できる」を導く英語教育—

会員・関係者各位

天候の定まらない春が終わりを告げ、新緑の季を迎えていますが、皆様もご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度のテーマは2011年度の「外国語の何をどのように教えるか」を引き継ぎ、「わかる」から「できる」を導く英語教育です。目的と方法論を考えることは、最も基本的で、教育にとっては当然のことです。むしろこれが決まっていなければ教育そのものが出発しない、成り立たないのではないかと、とも言うべきものでしょう。

しかし、外国語教育の場合は、時代の要請に添って、そして学習対象となる言語の変化や教授者・学習者の持つ知識や技能、あるいは「常識」といった基底の要素、テクノロジーの発展等のために、常にこれを再考し、時に更新していく必要があるように思えます。2011年度に導入された小学校外国語活動のような制度上の変更もまた、重要なファクターでしょう。

今回は、特に英語教育では問題となる「文法指導」について、わかること、できることに焦点を合わせました。非会員の方々もお誘いの上、皆様、どうぞご来場ください。研究大会でお会いできますことを楽しみにしています。

2013年5月

外国語教育メディア学会

関東支部長 森田 彰

### 記

**主催** 外国語教育メディア学会(LET)関東支部  
**期日** 2013年6月8日(土曜日)  
**会場** 東京農工大学 小金井キャンパス  
(〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16)  
JR中央線「東小金井駅」下車、徒歩約10分  
<http://www.tuat.ac.jp/>

### 外国語教育メディア学会(LET)関東支部事務局

〒310-8585 茨城県水戸市見和1-430-1

常磐大学 千葉敦研究室内

電話&ファックス: 029-232-2565

E-mail: [kanto-office@j-let.org](mailto:kanto-office@j-let.org)

## 時 程

9:30 ~

受 付

11号館1階

10:00 ~ 11:40

### 研究発表・実践報告 I

11号館1階 L1111 教室

司 会 萱 忠 義 (学習院女子大学)

10:00 ~ 10:30 ① 研究発表

「チャンク音読が読解効率に与える影響」

鈴 木 政 浩 (西武文理大学)

神 田 明 延 (首都大学東京)

湯 舟 英 一 (東洋大学)

山 口 高 領 (早稲田大学)

田 淵 龍 二 (ミント音声教育研究所)

池 山 和 子 (恵泉女学園大学)

10:35 ~ 11:05 ② 研究発表

「新しい読解速度計測ソフト制作に向けて  
—読みの速さと正確さの相互関係—」

田 淵 龍 二 (ミント音声教育研究所)

湯 舟 英 一 (東洋大学)

11:10 ~ 11:40 ③ 研究発表

「英語を学習する日本語母語話者による  
英語の/r/・/l/の知覚・生成  
—語学的背景やモチベーションとの相互関係—」

朝 熊 悠 (東京大学大学院生)

10:00 ~ 11:40

研究発表・実践報告 II

11号館 1階 L1112 教室

司会 入江 潤 (明星学園小学校)

10:00 ~ 10:30 ① 研究発表(公募プロジェクト成果発表)

「CALL 教材の改良とその活用研究」

下 島 義 容 (拓殖大学)

南 紀 子 (創価女子短期大学)

10:35 ~ 11:05 ② 実践報告(公募プロジェクト成果発表)

「ICTを取り入れた中学校多読プログラムの提案」

執 行 智 子 (東京未来大学)

カレイラ松崎順子 (東京経済大学)

参加者へのお願いとご案内

1) 参加費について

<会 員> 参加費は無料です。

<団体会員> 一団体につき1名が無料で参加できます。  
2人目からは1,000円をお支払いください。

<非 会 員> 1,000円(資料代) 学生も同額です。

2) 録音・録画についてはお断りしています。ご了承ください。

3) 駐車場はございませんので車でのご来場はご遠慮ください。

4) ランチパーティーについて (会費 1,000円)

大学付近は昼食を取れる場所がそれほど多くありません。校内の学食は当日営業しておりません。昼食の時間に、講演者や他の参加者との懇談の場としてランチパーティーを開催いたします。閉会後の懇親会は行いませんので、ランチパーティーへご参加ください。(参加される方は受付で1,000円をお支払いください)。

**11:55 ~ 12:25**

**イントロダクション**

140周年記念会館

文法力は英語力の核心です。しかし、従来の文法指導は文法力ではなく文法知識への偏重がみられます。文法力を養成するには「わかる文法」と「使える文法」の2つの課題に取り組む必要があります。この課題に対する方向性を示すことができればと思っています。

講師紹介 跡部 智 (慶應義塾普通部)  
講師 田中 茂範 (慶應義塾大学)

**12:25 ~ 13:40**

**ランチパーティー(賛助会員プレゼンテーション)**

140周年記念会館

司会 神田 明延 (首都大学東京)

本大会では閉会後の懇親会は開催せず、昼食の時間に、講演者や他の参加者との懇談の場としてランチパーティーを開催いたします。また、賛助会員の皆様に、展示商品についてご紹介いただきます。参加される方は、当日受付にて1,000円をお支払いください。

**賛助会員展示**

11号館5階 L1151 教室

11号館5階 L1151 教室では、ブースを設けて、賛助会員による展示を行っております。

**13:50 ~ 14:20**

**総会・開会行事**

11号館5階 L1153 教室

司会 佐藤 健 (東京農工大学)  
LET 関東支部長挨拶 森田 彰 (早稲田大学)

**14:25 ~ 16:55**

**講演**

11号館5階 L1153 教室

司会 跡部 智 (慶應義塾普通部)  
講師 田中 茂範 (慶應義塾大学)

14:25 ~ 15:25 講演 ①

**「わかる文法」とは**

文法が分かるかどうか、英語ができるかどうかの分水嶺です。しかし「『わかる文法』とは何か」を改めて問うとその答えは容易ではありません。我々が目指す「わかる文法」は英語学習の持続的動機づけを高めるだけでなく、「使える文法」と接続するものでなければなりません。「わかる文法」を実現するためには、「文法の全体像」を示すことと「妥当性の高い説明」を実現することが必須です。

15:35 ~ 16:35 講演 ②

**「わかる」から「できる」へ導く**

文法知識を文法力にすること、これが「使える文法」の実現です。そのためには、(1)文法にリアリティを与えるため、現実世界のテキストの中の文法(grammar in text)に着眼すること、(2)エクササイズ論に基づく文法演習を行うことの2つのポイントがあります。この講演では、具体的事例をできるだけ多く紹介しながら、新しい文法指導の在り方についての提言を行いたいと思います。

16:35 ~ 16:55 質疑応答

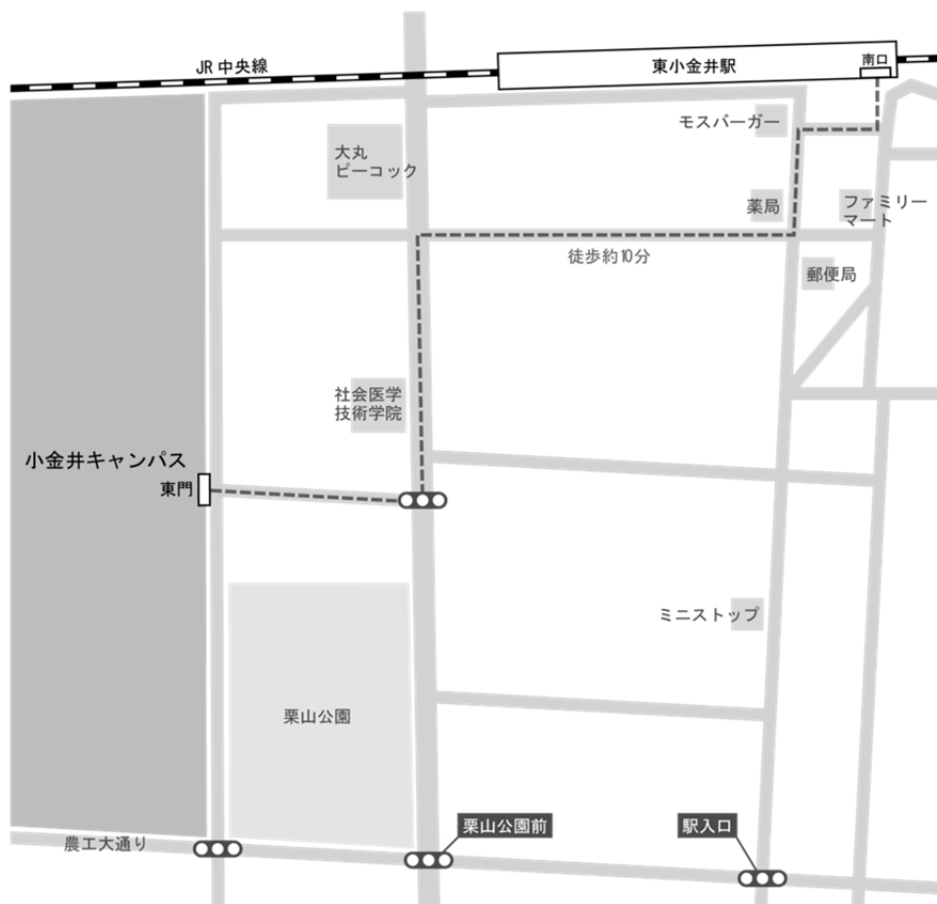
**16:55 ~ 17:00**

**閉会の挨拶**

11号館5階 L1153 教室

LET 関東支部副支部長 湯舟 英一 (東洋大学)

JR 中央線「東小金井駅」から小金井キャンパスへ



【東小金井駅からの経路】

受付(11号館)は東門を入り、左側に見える最初の建物です。